

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名：ポータースモーク専用液(無臭)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名：ダイニチ工業株式会社

住所：〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780-6

電話番号：0120-468-110

推奨用途及び使用上の制限 スモーク用原液(水性形)

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	記載以外の項目は区分に該当しない、もしくは分類できない	
	引火性液体	区分に該当しない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん・ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、血液系) 区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器)
	誤えん有害性	分類できない
環境に関する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意書き

安全対策

ミスト、蒸気を吸入しないこと。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 本製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

応急処置

液が目に入ったときは、水で注意深く洗って、医師の診断を受けること。
 液が皮膚に付いたときは、多量の水で洗い流すこと。
 液を飲み込んだときは、医師の診察を受けること。
 スモークを吸入して気分が悪くなったときは、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診察を受けること。

保管

換気の良い場所で保管すること。
 容器を密閉しておくこと。
 高温多湿を避け、冷暗所に保管すること。

廃棄

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

他の危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名

成分名	CAS No.	含有量
プロピレングリコール	57-55-6	30%
その他	-	残部

危険有害成分

化学物質管理促進法 (PRTR法) : 指定化学物質はない(又は閾値未満)

労働安全衛生法

第57条 表示対象物質 : プロピレングリコール

第57条の2 通知対象物質 : プロピレングリコール

毒物及び劇物取締法 : 非該当

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、安静にし、当該SDSや製品ラベル情報を医師に示して直ちに医療機関で手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類、靴を脱がせ、速やかに製品に触れた部分を大量の水または微温湯と石けんで洗浄する。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療機関で手当てを受ける。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な水でまぶたの裏も含めて最低15分間注意深く洗浄した後、眼科で手当てを受ける。

飲み込んだ場合

直ちに水でよく口の中を洗浄し、医療機関で手当てを受ける。嘔吐物は飲み込ませないようにする。

5. 火災時の措置

本品は引火性がなく、消防法の危険物適用外(非危険物)ではあるが、周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 適切な消火剤 | : 水・炭酸ガス・泡・粉末消火剤、乾燥砂で消火する。 |
| 使ってはならない消火剤 | : 情報なし |

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・作業の際には必ず保護具(保護マスク、耐溶剤性手袋、保護眼鏡、保護衣等)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、噴霧粒子を吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に混入し、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・漏出物は乾燥砂、土その他不燃性のものに吸収させてスコップ、ウエス等ですくい取りまたは掃き集めて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- ・回収物は密閉できる空容器に回収し、関連法規に基づいて処置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・換気の良い場所で取扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬように適切な保護具を着用する。
- ・取扱後は手・顔などをよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
- ・密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

保管

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・取扱場所は給排気が充分にとれる設備とすること。
- ・屋内作業の場合は、自動機器等を使用するなど、作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者がばく露から避けられるような設備とすること。
- ・密閉場所(タンク内部、室内、床下等)で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで充分

に換気できる装置を取り付けること。

保護具

呼吸用保護具

- ・15. 適用法令の労働安全衛生法 通知対象物質に記載されている物質に対応した防毒マスクを着用する。

手の保護具

- ・耐溶剤性手袋を着用する。

眼、顔面の保護具

- ・JIS規格に適合したできればサイドシールドがある保護眼鏡を着用する。大量に使用したり飛沫が飛ぶ場合は、保護面を使用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の作業衣、手袋、靴、帽子等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

物理状态	: 透明粘稠液体
色	: 無色透明
臭い	: わずかな特異臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 情報なし
引火点	: 引火しない
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 情報なし
動粘性率	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び/又は相対密度	: 1030～1050 kg/m ³
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取扱においては安定。
化学的安定性	: 通常の取扱においては安定。
危険有害反応可能性	: 下記の分解生成物が発生するおそれがある。
避けるべき条件	: 熱や発火源を避けること。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 刺激性ガス[-] NO _x [-] SO _x [-] その他[CO]

11. 有害性情報

主成分の有害性情報

◆プロピレングリコール

	【分類結果】	【分類根拠】
急性毒性(経口)	区分に該当しない	政府によるGHS分類結果に基づく
急性毒性(経皮)	区分に該当しない	政府によるGHS分類結果に基づく
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない(分類対象外)	政府によるGHS分類結果に基づく
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	政府によるGHS分類結果に基づく
急性毒性(吸入:粉じん・ミスト)	分類できない	政府によるGHS分類結果に基づく
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分に該当しない	政府によるGHS分類結果に基づく
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	区分に該当しない	政府によるGHS分類結果に基づく
呼吸器感作性	分類できない	政府によるGHS分類結果に基づく
皮膚感作性	区分に該当しない	政府によるGHS分類結果に基づく
生殖細胞変異原性	分類できない	政府によるGHS分類結果に基づく
発がん性	分類できない	政府によるGHS分類結果に基づく
生殖毒性	分類できない	政府によるGHS分類結果に基づく
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1(中枢神経系、血液系) 区分3(麻酔作用)	政府によるGHS分類結果に基づく
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器)	政府によるGHS分類結果に基づく
誤えん有害性	分類できない	政府によるGHS分類結果に基づく

組成物質に関するその他の有害性情報

- ・特に情報を有していない。

12. 環境影響情報

- ・漏洩したときや廃棄の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱には注意をすること。
- ・容器、機器などの洗浄水をそのまま排水溝へ流さないこと。

製品に関する環境影響情報

生態毒性(急性)	: 情報がなく、分類できない
生態毒性(慢性)	: 情報がなく、分類できない
残留性・分解性	: 情報なし
生態蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

- ・自治体の条例や指導に従って処分すること。
- ・使用残、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。
- ・容器、機械・装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」

- 及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・河川、湖沼、下水道等の水系や地下水を汚染する場所には捨てないこと。

14. 輸送上の注意

- 共通 : 運搬に際しては、容器の漏れのないことを確認して、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの法規に定められた運送方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。
- 国際規制 : 国連分類 国連分類に該当しない
- 国際規制 : 国連番号 ー
- 品名 ー
- 容器等級 ー
- 海洋汚染物質 非該当

15. 適用法令

- 薬機法 : 非該当
- 消防法 : 非危険物(組成から判断)
- 化学物質管理促進法(PRTR法) : 指定化学物質はない(又は閾値未満)
- 労働安全衛生法
- ・労働安全衛生法施行令別表第3第1号(製造許可物質、特定化学物質第1類物質) : 対象物質はない(又は閾値未満)
 - ・労働安全衛生法施行令別表第9及び労働安全衛生規則別表第2(第57条 表示対象物質) : プロピレングリコール
 - ・労働安全衛生法施行令別表第9及び労働安全衛生規則別表第2(第57条の2 通知対象物質) : プロピレングリコール
 - ・特定化学物質障害予防規則 : 対象物質はない(又は閾値未満)
 - ・有機溶剤中毒予防規則 : 対象物質はない(又は閾値未満)
 - ・鉛中毒予防規則 : 対象物質はない(又は閾値未満)
 - ・四アルキル鉛中毒予防規則 : 対象物質はない(又は閾値未満)
 - ・労働安全衛生法施行令 - 別表第一(危険物) : 対象物質はない(又は閾値未満)
 - ・労働安全衛生規則第594条の2 皮膚等障害化学物質 : 対象物質はない(又は閾値未満)
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当

16. その他の情報

- 1) 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- 2) 化学商品(化学工業日報社)
- 3) JIS Z 7253(2019) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実用を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

本品の使用に際しては、ラベル等の記載をよく読み、十分理解した上で、使用方法および用途を厳守して使用して下さい。